

獨立步兵第二十二大隊長 陸軍中佐 磯崎 政
 陸軍衛生部見習士官 松下典正

病 歴 書

武子前陸

現住所

第六十二師團獨立步兵第二十二大隊機關銃中隊
 昭和十八年徵集 陸軍上等兵 鈴木 久米男

- 一病 名 戰爭榮養失調症
- 二發病年月日 昭和十九年七月十日
- 三發病場所 中華民國內河南省鄭縣十八里河
- 四原因 別紙事實證明書記載ノ如シ
- 五經過

本症ハ其本教育終了後部隊主力ニ返及中昭和十九年七月十日河南省鄭縣十八里河ニ於テ發病當時下痢食思不振全身倦怠衰弱等ヲ覺シシモ今意セズ強行軍ニ次ク強行軍ヲ以テ七月三十日部隊主力ニ到着直ニ受診療養ニ入リマシタルモ引續キ南西諸島へ轉進ヲ伴ヒ完全ナリ為療ヲ受ケルニ能ハズ津浦線島上陸後直ニ入營セシメ隊ヲ施セルモ輕快ニ徴ナク降給ニ過セズト認メ十二月四日當時戰病院ニ收容セラレ當時休格中等度ナルモ全身衰弱顯著明ニシテ顔貌浮腫狀ヲ呈シマシ

が舌は清淨ナリ言語十分ニ達ス得又胸膈感痛微弱ナリ肺野ニ異常ナシ
腹部平坦ニシテ予ホ軟肝脾腎ヲスルニ下腹縮ミ腹痛アリ下腹行ニ足背ニ輕
度ナル浮腫ナリ健胃劑化劑進ニ患心劑ニ止痢散ニ苦積散ニ投與
ス下痢ニダヤクミンニワラ朝夕各一回服テ注射ニ弱汁流動茶ヲ與ヘリ枯血
便中ニ行ナリ十二月八日六時顔貌浮腫狀ニシテ元氣ナシ顔色稍々蒼白ナリ
舌ハ灰白色ノ中ニ浮腫ニ著ナキナリ胸膈ニ依然トシテ心音微弱ニシテ肺野
ニ異常ナシ腹部ニ壓痛ナク下痢ハ四行トナレリ本ヨリ安ナカ液ニワカシラ
ル液ニワカシ安ナシ毎六時間一回皮下注射ヲ行フト兵ニ高張糖液ニワカシ
及ビリノゲルニワカシ夜下注射ヲ毎一回行フ十二月十日顔貌尚浮腫狀ニシ
テ元氣ナシ手背及ビ足背ニ輕度ノ浮腫アリ舌ハ灰白色ノ中ニ浮腫ノ著ナ
キナリ胸膈呼吸音微弱ニシテ聽取困難ナリ心音亦微弱ナリ腹部ニ異
常ニシテ下痢三行ニシテ脈膊ハ絲狀ニシテ始メト觸知セズ病狀増進セルニヨリ
十三時第一報ヲ發スルト兵ニ赤痢ヲ所セリ病理解檢ニ於テ赤痢菌ニ
病マシハ陰性ナリ十二月十二日顔貌尚浮腫狀ニシテ元氣ナシ手背及ビ足
背ニ浮腫輕度ニ存ス顔色尋常ナリ舌ハ乾燥シ灰白色ニ薄クナリ衣
胸部ニ赤痢菌ハ前診時ニ同シ腹部ハ舟狀ニ陥凹ナリ下痢ハ一日四行程度ナリ
脈膊ハ稍々良好トナリ觸知シ得ルモ弱シ整ニシテ緊張ハ良好ナラズ食思振
ハズ本ヨリ安ナカ液ニワカシル液ニワカシ夜下注射ヲ毎三時間一回トナス
十二月十四日顔貌殆ト尋常トシ舌清淨ナリ胸膈呼吸音弱モ心音尋

常トナル腹部平坦ニシテ軟肝ナリ壓痛ナシ脈膊ハ整實緊張ハ良好トナル食
思増進ス平温平脈トナリ下痢一日三行アリ症狀輕快セルニヨリ本日輕快報
ヲ發セリ本ヨリ安ナカ液ニワカシ注射ヲ中止シカンフル液一日一回トナスモ高張
糖液及ビリンケル液ハ依然續行ナリ赤痢菌及赤痢アトバ共ニ陰性ナ
リ以上原因經過及ビ症狀ヨリシテ十二月十五日戰爭榮養失調症ト病名
決定セリ十二月十七日顔貌尚浮腫狀ニシテ元氣ナシ足背及ビ手背ニ於テ
浮腫著明ナリ食思良好ニシテ空腹感著明ナリ体温三五三度脈膊
五八至細少ナリ胸膈呼吸音弱ナシ心音稍々弱シ昨日水様下痢二行アリ
腹部ニ異常ナシ本ヨリ安ナカ液ニワカシル液ニワカシ夜下注射ヲ毎三時間一回皮下注射
ス十二月十九日顔貌浮腫ハ著シク消退セリ足背及ビ手背ノ浮腫モ著シ
ク消失セリ下痢一日三行トナル水様便ナリ食思良好ナリ舌ハ赤色ニシテ清
淨ナリ胸膈及ビ腹部ニ著明ニ変化見ラズ十二月二十一日六時突然呼ヘドモ
應答ナクナリ顔貌ハ憔悴シ來リ兩眼陷凹シ上眼瞼下垂シ瞳孔ハ稍々散大
ス口ハ開口狀ニシテ口唇ヨリ兩齒列ヲ望見ス呼吸及ビ心音ハ微弱ナリ
脈膊ハ整ナルモ緊張張悪シク細小ナリ病狀再ビ増進セルヲ以テ六時第一報
ヲ發スルト兵ニ赤痢ヲ所セリ十二月二十一日八時脈膊ハ絲狀ニシテ殆
トフレク強心劑注射後ニハ一時觸知シ得ルニシテ心搏動亦不整トナル病危篤
ナルニヨリ八時第一報ヲ發ス十二月二十三日十三時ビタカンブア高張糖液
ノ靜注ニヨリ一時不整ナリ脈膊ハ整トナル緊張ハ良好トナルハナクナレリ

意識明瞭ナリ應心答亦確實トナル空腹ヲ訴フルニヨリ砂糖水カタクリ等
 ラ少量與フルニ美味ナリト賞スルニ至ル 昨ハ下痢七行ニシテ水様ナリ十二月
 二日十八時十三時ノ診時ヨリ元氣稍ニ乏シ時ニ脈搏ハ不整トナル細少
 ニシテ意識稍々不明瞭ニシテ應答不確實ナリ 顔貌ハ蒼白色ニシテ
 削瘦著明ナリ舌ハ灰白色ニシテ乾燥状ナリ 胸部ハ心音呼吸音共ニ微
 弱ナリ 腹部壁ハ舟底状ニ隆起アリテ臍木軟肝脾腎ヲプレスズ壓痛ナシ
 四肢末端 冷感アリテ軽度ノチアノーゼヲ呈ス アドレナリン一ロダキタミン
 一ロダ 皮下注射ヲ行フ 十二月二十一日二十三時五十分 顔貌削瘦著明ニシテ眼
 球陷凹シ昏睡状ナリシガ二十三時五十分ヨリ下顎呼吸ニ移行シ瞳孔ハ縮小ス
 脈搏ハ不整ニシテ殆クプレスビタカンフア、四ロヲ安カカ液ニシト共ニ皮下注射セ
 シモ其効一ク四肢末端チアノーゼニ増強シ二十四時ニ至リ瞳孔散大シ呼吸及
 ビ心搏動ハ停止シ遂ニ死セス

六死七年月日 昭和十九年十二月二十一日
 七死七場所 神繩縣中頭郡中城村宇津霸第六十二師團野戰病院
 石ノ通ニ候也

昭和十九年十二月二十一日
 第六十二師團野戰病院附
 高木聖博

證明書



本籍地
 現住所

第六十二師團獨立歩兵第二十二大隊機關銃中隊

昭和十八年徵集 陸軍 一等兵 鈴木久米男

一病名 戰爭榮養失調症

一決定年月日 昭和十九年十二月十五日

一公務起因名 本病ハ別紙所屬部隊長調製事實員證明書

ノ理由 由 勤務三回リ發病セルモノト認ム

右證明ス

昭和十九年十二月十五日

第六十二師團野戰病院長 陸軍軍醫少佐能心倉 意

一、小量... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、... 十一、... 十二、... 十三、... 十四、... 十五、... 十六、... 十七、... 十八、... 十九、... 二十、... 二十一、... 二十二、... 二十三、... 二十四、... 二十五、... 二十六、... 二十七、... 二十八、... 二十九、... 三十、... 三十一、... 三十二、... 三十三、... 三十四、... 三十五、... 三十六、... 三十七、... 三十八、... 三十九、... 四十、... 四十一、... 四十二、... 四十三、... 四十四、... 四十五、... 四十六、... 四十七、... 四十八、... 四十九、... 五十、... 五十一、... 五十二、... 五十三、... 五十四、... 五十五、... 五十六、... 五十七、... 五十八、... 五十九、... 六十、... 六十一、... 六十二、... 六十三、... 六十四、... 六十五、... 六十六、... 六十七、... 六十八、... 六十九、... 七十、... 七十一、... 七十二、... 七十三、... 七十四、... 七十五、... 七十六、... 七十七、... 七十八、... 七十九、... 八十、... 八十一、... 八十二、... 八十三、... 八十四、... 八十五、... 八十六、... 八十七、... 八十八、... 八十九、... 九十、... 九十一、... 九十二、... 九十三、... 九十四、... 九十五、... 九十六、... 九十七、... 九十八、... 九十九、... 一百、...

死亡診斷書

一、氏名 鈴木久米男

二、男女ノ別 男

三、出生ノ年月日 大正拾貳年九月九日

四、職 業 第六十二師團獨立步兵第三十三大隊機關銃中隊 陸軍上等兵

五、病死自殺其他 戰事營養失調症(戰病)

六、病名 戰病

七、發病ノ年月日 昭和十九年七月十日

八、死ノ年月日時 昭和十九年十二月二十一日午後十二時零分

九、死ノ場所 神尾縣中頭郡中城村字津霸第六十二師團野戰病院

右證明候也

昭和十九年十二月二十一日

第六十二師團野戰病院長 陸軍軍醫少佐 熊倉 寛



第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地 第六十二師團駐屯地

請給與金證明書

本籍地
現住所

第六十二師團獨立步兵第二十二天隊 機關銃中隊

故陸軍上等兵鈴木久米男

右者對スル昭和十七年一月十日陸軍省告示第二號

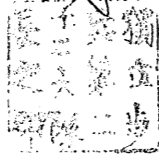
大東亞戰役ニ係ル死歿者特別賜金賜與規定第二

條第二項ノ請給與金ニ支給ニアラザルコトヲ證明ス

昭和十九年十二月五日

獨立步兵第二十二大隊長 磯崎

磯崎



自昭和十九年八月十一日

中尾本島防衛並作戰準備

至同 年 月 日

昭和十九年七月二十日

發病 年 月 日

中華民國河南省武陟縣何營

發病 場所

發病 狀況

參字 卅 號

本症ハ昭和十九年七月二十日河南省武陟縣何營附並行動中輕度腹痛上六三下痢一日四五行ヲ訴フルモ之ヲ月シテ繁劇ナル警備勤務或ハ南西諸島轉進ニ伴テ輸送業務ニ從事ヒシニ因リ諸症狀惡化セリ據テ八月二十日受診爾來入室セシメ加療ニ努メタルモ症狀意ノ如ク緩快セズ隊治ニ不適ト認メ送院セシム

本症誘發原因ヲ探究スルモ本人ハ生來強健ニシテ昔患ヘテ識ラズ尚血族的ニ於テハ何等遺傳的疾患ヲ認メズ頑健ナル身體ヲ以テ入隊セルモ本業基本教育間ニ在リテハ主トシテ敬備勤務ニ從事シ作戰下部隊主力追及於テハ炎熱酷暑或ハ雨中泥濘ト連日連夜

式字 卅 號

繁劇ナル行動ヲ續行中何營附並ニ於テ前記ノ症狀ヲ訴フルニ遠

隔地ニテ完全ナル治療ヲ受クル能ハズ依然行動ヲ續行セリ 追及後モ身體ノ疲勞ヲ癒ス暇ナク今次部隊ノ輸送業務ニ從事長途ノ列車並ニ船舶輸送ニ於テ特ニ船内ノ採光換氣共ニ不良ニシテ蒸熱ヲ毎日ノ起居ハ二坪六七セロヲ收容シ脚ヲ屈伸スル等ノ自由ナラザル狀態ニシテ睡眠又意ノ如クナラズ給養モ亦良好ナラズ以上ノ如ク非衛生的感作將又任地到着後ノ氣候風土ノ激變等累次ノ過勞集積シ次第ニ身體ノ抵抗力ヲ減弱シ遂ニ本病ヲ誘發セルモニシテ之眞ニ公務ニ起因セシモノト認ム

右證明ス

昭和十九年十月六日

第六二師團獨立步兵第三大隊長 陸軍中佐 磯崎 磯

第六二師團獨立步兵第三大隊附 陸軍軍醫中尉 田口 彰

本籍地
現住所

病歴書

第六十二師團陽立歩兵第二十二大隊歩兵砲中隊
昭和十八年徵集 陸軍上等兵 三 祝安雄

榮養夫 調症

昭和三十九年七月二十日 河南省武陟縣何營
中華氏國河南省武陟縣何營
別紙事發證明書記載ノ如シ

一 病名 二 發病年月日 三 發病場所 四 原因 五 經過

一 發病狀況 本病ハ昭和十九年七月二十日河南省武陟縣何營ニ行動中程度ノ腹痛ト共ニ下痢一ト伴フ輸送業務ニ從事セシニ依リ諸症狀悪化シ同年十月六日北谷第六十二師團野戰病院ニ入院シシノラル

二 入院當時ノ經過 入院後ノ經過 入院當時ノ水様下痢便一日五行アリ體格稍々不良榮養表ハ顔貌活氣乏シク舌ハ白苔ヲ衣シ可視粘膜ハ會血性ナリ體温三八一度脈膊八二至ヨ算シ食慾不振アリ心臓ハ心音不純肺野ハ一般ニ呼吸音銳利ナル外着變ナシ腹部ハ輕度ニ膨滿シ鼓腸アリ心窩部左下腹部等ニ壓痛アルモ索狀物硬結等ナシ肝臟脾臟共ニ觸レズ

三 治療 十月七日以後ハ概シ平温平脈トナリ同月九日ヨリ便通ハ下痢便又ハ普通便一日一行乃至三行 腹前ハ平坦柔軟トナル

四 経過 八月二十日ヨリ水様下痢便一日十行食慾不振ヲ加フ

五 結果 十一月六日長期療養ノ目的ヲ以テ陸軍病院ニ轉送セラレ 當時體温赤線下榮養表ハ

顔貌憔悴シ心音ハ微弱シ肺野ハ呼吸音銳利ニシテ腹壁ハ弛緩陷凹シ柔軟ニシテ腹鳴アリ膝蓋及アヒレス腱及射ハ者シク減退ス依ツテ糖液ヒタミシ注射ヲ行フホ自十一月七日至十一月十三日體温三六・五—三六・八度ヨリ漸次下降三六・〇度以下トナル水様下痢便一日三乃至六行食慾不振ニシテ顔貌憔悴シ衰弱ノ度ヲ加ヘ全身ノ皮膚ハ乾燥シ弾力ニ乏シク四肢筋肉ハ弛緩シ柔軟トナル此ノ間糖液ビタミン劑ノ注射ヲ行フト共ニ強心劑ノ時間注射ヲ施行セリ
 十一月十四日發病狀態及入院以來ノ經過ヨリ病名ヲ榮養失調症ト決定シ病症増進ノ報ヲ發シ連續前處置ヲ持續セリ
 十一月十五日午前七時全身衰弱甚シク顔面蒼白口内特ニ舌口唇等乾燥シ口唇手指尖端ハ紫藍色ヲ呈シ意識細少微符ニシテ結締シ呼吸ハ淺表トナル四肢厥冷脱力シ諸種ノ處置ヲ同日午後四時脈膊細少微符ニシテ脈膊心音停止腫孔散大シ午後四時三十分遂ニ死亡ス
 六死 亡年 月 日 昭和十九年十一月十五日
 七死 亡年 月 日 昭和十九年十一月十五日
 右ノ通ニ場所也 沖繩陸軍病院
 昭和十九年十一月十五日

沖繩陸軍病院附 目 源 逸 目

證明書

本籍地
 現住所



所屬部隊號 第六十二師團獨立步兵第三十二大隊步兵砲中隊
 徵 集 全 昭和十八年 官等級氏名陸軍一等兵 三瓶安雄

一病 名 榮養失調症

二 決定(監定) 昭和十九年十一月十四日

三公務起因及理由

本病ハ別紙所屬部隊長調製事實證明書ノ勤務ニ依リ昭和十九年七月二十日中華民國內政部何營附近ノ警備勤務或ハ南西諸島轉運ニ伴フ輸送業務從事中發病シタルモノト認ム

右證明書

昭和十九年十一月十四日

沖繩陸軍病院長陸軍軍醫中佐 廣池 文吉